

ポストコロナ社会の新パラダイム

北陸新幹線加賀温泉駅開業を見据えた 「スマートシティ加賀」の玄関口について

令和2年7月28日



加賀市の概要



位置 : 石川県の南西部、福井県との県境に位置
人口 : 65,865人 (R2.5.1 現在)
産業 : 主な産業は製造業、観光業
九谷焼や山中漆器などの伝統工芸も息づく

大聖寺藩の伝統と自然が息づくまち



▲大聖寺藩の長流亭



▲山中・山代・片山津温泉を有する加賀温泉郷



九谷焼



山中漆器



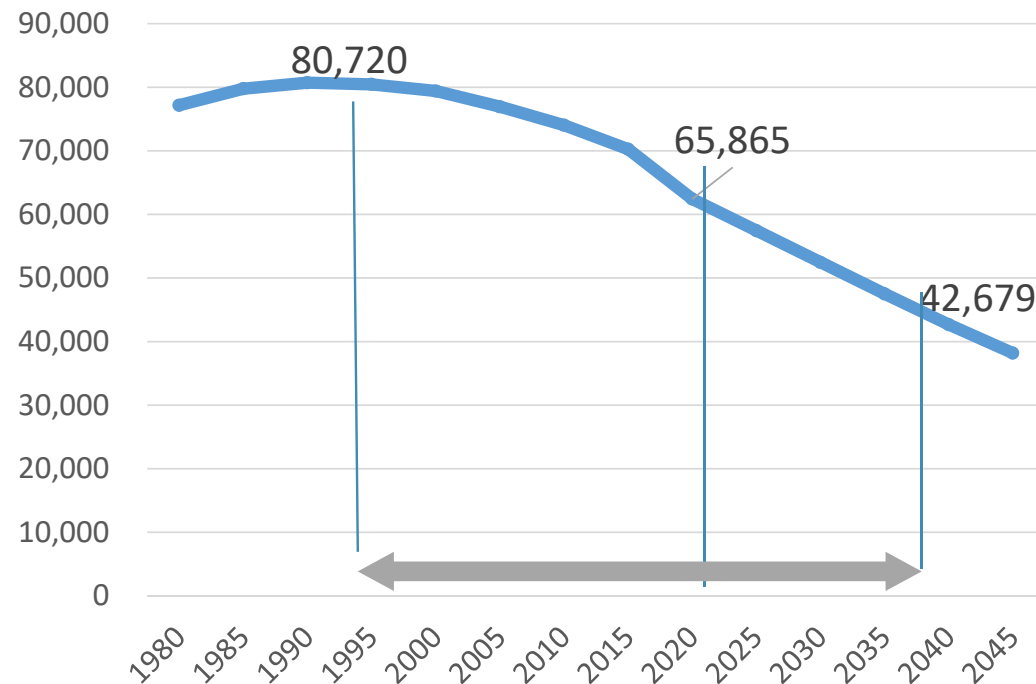
2023年 北陸新幹線加賀温泉駅が開業予定

加賀市の現状

東京から
飛行機で1時間30分
新幹線で3時間20分



人口減少による人材の不足



そのような中

2014年5月 「消滅可能性都市」と指摘された。

日本創成会議「人口減少問題検討分科会」報告書

未来の産業人材の育成

STEAM教育

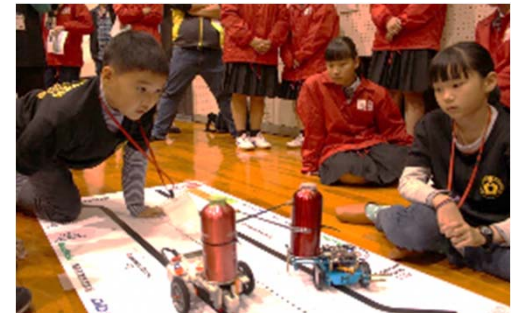
- ▶ 2017年度から、必修化に先駆け全国で初めて、全ての小中学校でプログラミング教育を実施
- ▶ 2015年からロボットプログラミングを競う「ロボレーブ国際大会」を毎年開催
- ▶ マサチューセッツ工科大学発「コンピュータクラブハウス加賀」を日本で初めて開設

石川県内トップクラスの子育て支援

- ▶ 保育園等給食費の無料化や子ども医療費助成、出産準備手当の支給
- ▶ 日本海側最大級の大型ネット遊具を持つ「かがにこにこパーク」を整備



▲プログラミング教育



▲ロボレーブ国際大会



▲かがにこにこパーク

「スマートシティ加賀」に向けて

「加賀市スマートシティ推進官民連携協議会」(R1.8.26)

スマートシティの推進に向けた合意形成を図る場として、市内産業団体や市民団体等25団体で組織

「加賀市スマートシティ宣言」(R2.3.30)

◇基本理念

人間中心の未来社会の実現

◇3つの戦略

- | | |
|-------------|------------------|
| 1 デジタルファースト | ～データ駆動型のまちづくり～ |
| 2 クリエイティブ | ～創造的なまちづくり～ |
| 3 スマートシチズン | ～市民との共創によるまちづくり～ |

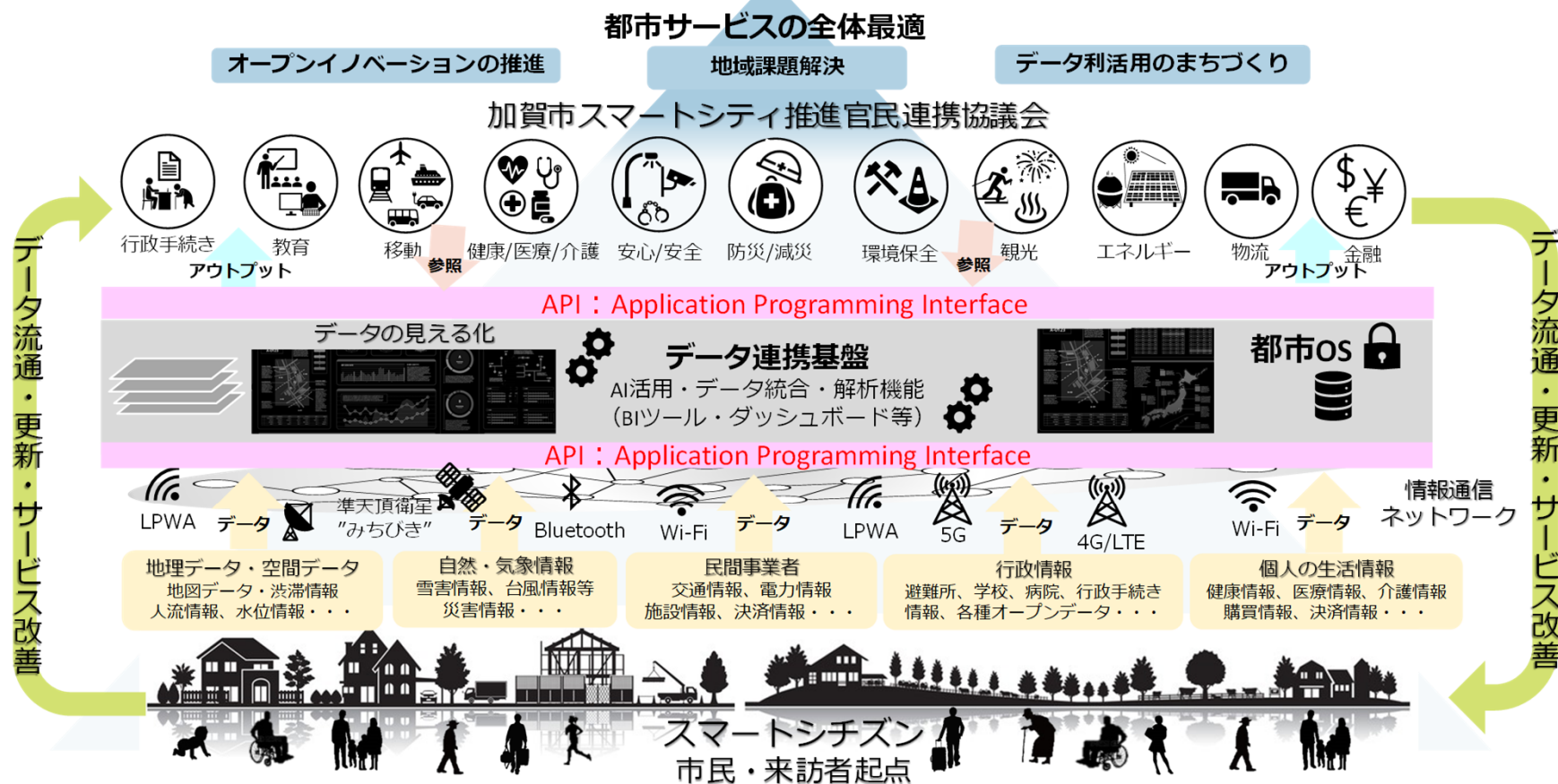


クリエイティブでイノベーティブな
「挑戦可能性都市」を目指す。

スマートシティ加賀の全体像とデータ連携基盤

- 「市民のQOL向上、来訪者の満足度向上、稼働力の向上」の実現を目指すスマートシティ加賀の全体像とデータ連携基盤の概要を以下に示します。**「加賀市民憲章」の具現化**

「市民のQOLの向上・来訪者の満足度向上・稼働力の向上」の実現



【ポストコロナへの挑戦】

市医療センターに発熱外来を緊急設置



今後、

- ・ 自動体温検知等システムや
- ・ 紫外線でウイルスを不活化させる設備を導入



「アバター」で遠隔のコミュニケーションを実現



アバターを活用した遠隔お見舞い

双方向オンライン
学習環境

7月中に1人1台実現

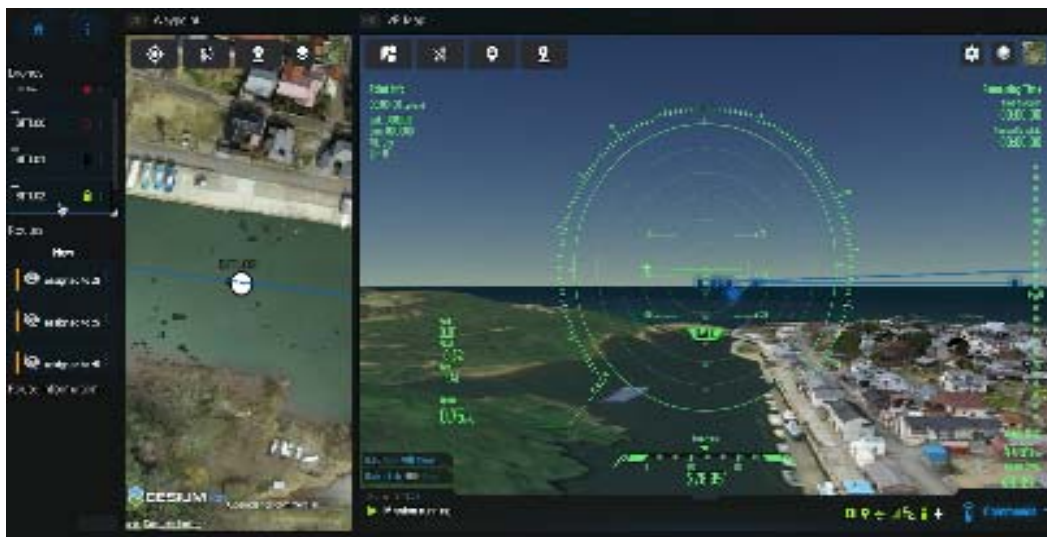


公共施設の混雑状況を、
A I によりリアルタイム
で確認



【イノベーションへの取組み】

ドローン活用に向けた 3Dマップの作製 市域全体のカバーを目指す



5G基地局の設置

加賀市イノベーションセンター内に整備

MaaSによる 次世代移動サービスの構築 加賀市MaaSコンソーシアムを設立

RE100を目指した 自治体新電力への取組み 再生可能エネルギーによる社会の実現

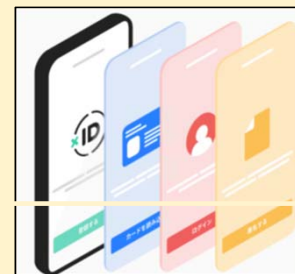
【イノベーションへの取り組み】

ブロックチェーン技術によるポータルサイト開設



マイナンバーカード連携の個人認証の基盤づくり

デジタル個人認証アプリ
「x-ID」を活用



加賀市e-residencyの検討

多拠点居住による
新しい働き方の提案



旅館を活用した長期リモートワーク等の
「多拠点居住」を提案し、「**仮想市民(加賀市
版e-residency)**」としてサービスを受けら
れるスキームを構築する。

加賀市の課題

**2023年北陸新幹線 加賀温泉駅
開業を捉えた周辺区域の在り方**

2023年北陸新幹線 加賀温泉駅開業予定

アクセスが大きく向上



東京から

・北陸新幹線 3 時間弱
に。

(現在は約 3 時間 3 0 分)

・飛行機

羽田～小松空港～加賀市
1 時間 3 0 分

大阪から

・JRサンダーバード
2 時間 1 6 分

改修前の加賀温泉駅



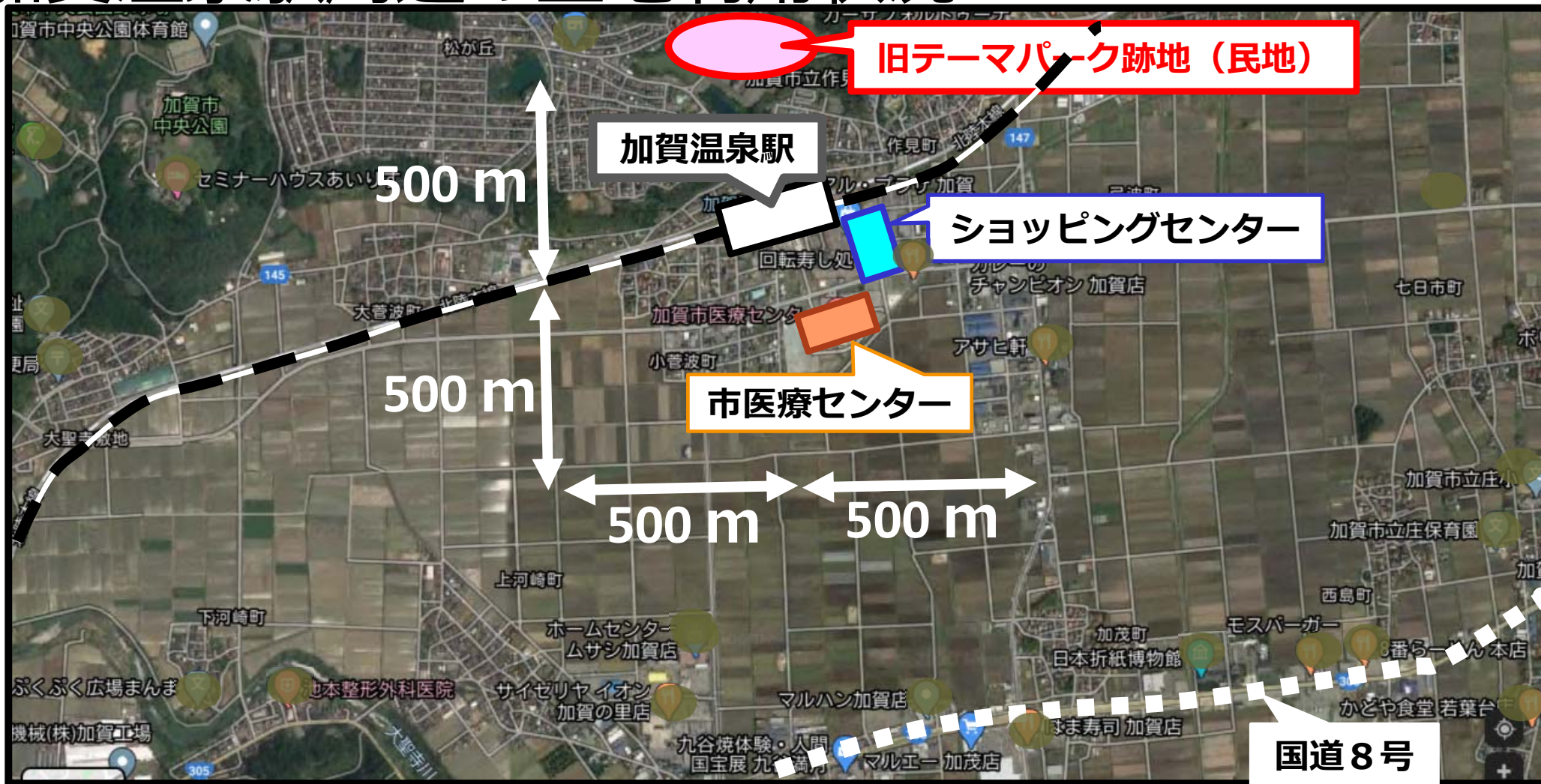
北陸新幹線加賀温泉駅の完成イメージ



加賀温泉駅前広場の鳥瞰図イメージ



加賀温泉駅周辺の土地利用状況

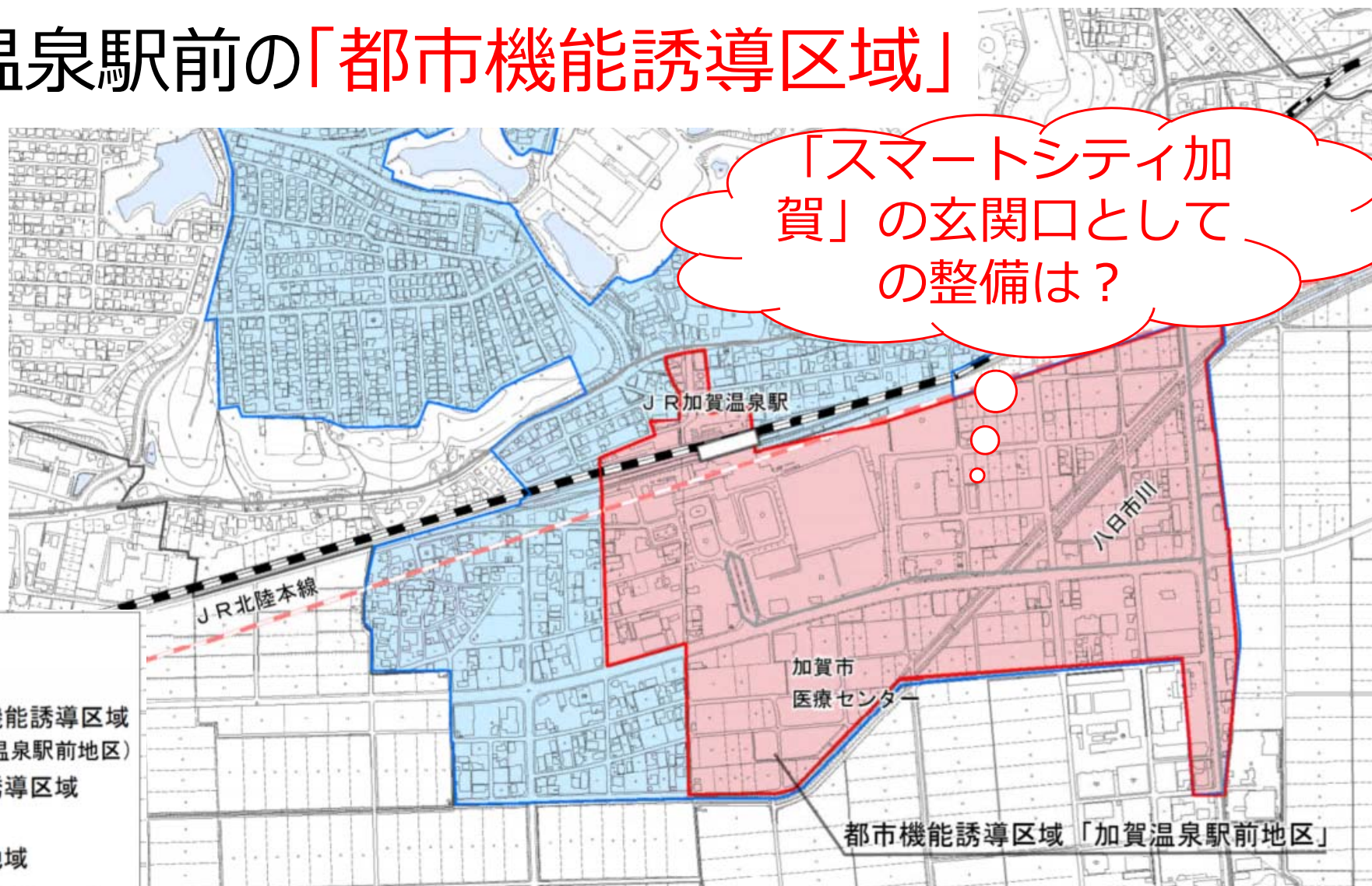


加賀市立地適正化計画では、 加賀温泉駅前を「都市機能誘導区域」に。

【都市機能誘導区域へと誘導する建物・施設】

分類	具体的な建物(施設)	城下町地区	温泉地区	加賀温泉駅前地区
		大聖寺	山代・片山津・山中	作見
商業	広域型商業施設 (店舗面積 3,000 m ² を超えるもの)			○
	地域型商業施設 (店舗面積 1,000 m ² 以上 3,000 m ² 以下)	○	○	○
金融	銀行	○	○	○
文化・福祉	総湯(温泉共同浴場)		○	

加賀温泉駅前の「都市機能誘導区域」



ご清聴、ありがとうございました。

